

実施計画事業名		社会福祉施設等整備事業		評価対象年度	平成 22 年度				
評価担当部署		生活福祉部 社会福祉課		課長(主幹)名	熊谷 悦子				
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉						
	政策	3	支え合いだれもが安心して暮らせるまちづくり						
	施策	3	障がいがあっても地域の中で自立できるよう支援します						
	関連施策								
現状と課題	平成18年4月に障害者自立支援法が施行され、特に施設訓練等サービスでは、施設内での生活から地域と交わる暮らしへと転換するため、昼のサービス「日中活動」と夜のサービス「居住支援」に分かれた。施設を退所する人の居住の場の、雇用の場を拡充する必要があることから、社会福祉法人などと連携を図りながら障害者の福祉的就労の場の整備や一般就労の場の確保、グループホーム等の新たな居住の場の確保と等を図っていくことが求められている。								
目的	障害のある人の居住と就労の場を確保して、地域で安心して生きがいを持って自立した生活を送れるようにすること								
5ヶ年展開の	旧体系施設を運営する事業者等と連携を図り、障害者の地域移行の受け皿として必要な就労・居住の場の整備を進めていく。								
成果指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度	
	障害者グループホーム等の定員数		人		目標	85	95	110	
説明	本市内で共同生活援助及び共同生活介護を提供するグループホーム及びケアホームの定員数				実績	95	95		
活動指標	名称		単位			21 年度	22 年度	25 年度	
	社会福祉施設整備借入金償還補助の対象施設		箇所		目標	5	4	3	
	説明	稚内市社会福祉法人助成条例に基づき、施設整備借入金に対して助成を行った対象施設の数				実績	5	4	
					目標	-	-	-	
					実績				
					目標	-	-	-	
					実績				
					目標	-	-	-	
				実績					
事業費の実績		単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考			
	直接事業費(A)		千円	21,049	45,306	19,719			
	国庫支出金		千円	0	0	0			
	道支出金		千円	0	0	0			
	起債		千円	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0			
	一般財源		千円	21,049	45,306	19,719			
	この事業にかかる職員数		人/年	0.53	0.14	0.14			
人件費(B)		千円	3,671	951	951				
計(A+B)		千円	24,720	46,257	20,670				
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化								

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 今後も施設入所から地域移行を進めていく。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総合評価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--